

医療安全管理室

Patient Safety Unit



納得のいく医療をめざし 患者さんと医療者をサポートします

「リスクマネジメント」「コンフリクトマネジメント」「クライシスマネジメント」の3つの活動に主に取り組んでいる。

- ①リスクマネジメント: リスクの認識と対策立案、モニター・インシデント報告の分析、インシデント報告から学ぶ、学生やスタッフに患者安全の教育を行う
- ②コンフリクトマネジメント: 患者さんと職員間の対話の仲介(特に有害事象発生後)
- ③クライシスマネジメント: 重大事故発生後の患者さんあるいは家族への対応、事故の原因調査、明らかな過失が判明した場合の謝罪

業務内容の特徴と実績

医療安全や事故防止活動を展開

医療安全管理室は2001年4月に設置された。2015年度現在、松村由美病院教授(医師、室長)、飯田恵専従看護部長(GRM)、山本崇助教(薬剤師)、福村宏美副看護部長および医療サービス課医療安全掛事務8名から構成される。河合優美子副看護部長は副室長を兼任している。

2014年度の実績は次の通りである。インシデントレポート件数9,881件(うち医師から480件)、マニュアル・対応指針の作成(改訂)26件、医療安全に関する院内講習会27件、医療安全情報14回、転倒転落事故防止情報2回配布、調査委員会6件、事例調査報告書(2014年度完成)8件、講演活動24件[安寧の都市セミナー(4月)・京都府医師会「第11回医療安全シンポジウム」(4月)・医療安全管理者養成講習会(京都府看護協会)(5月)・平成26年度京都府専任教員養成講習会(5月)・京都府理学療法士会新人教育部研修会(5月)・第1回多職種学際シンポジウム(5月)・看護管理者制度ファーストレベル講習(京都府看護協会)(6月)・第39回日耳鼻医事問題セミナー(6月)・京都府立医科大学附属病院「医療安全研修会」(6月)・第41回セーフティマネージメント研修会(倉敷中央病院)(6月)・医療安全研修会大阪赤十字病院(7月)・医療安全研修会蘇生会病院(7月)・医療安全教育セミナー2014夏季(7月)・滋賀県立成人病センター(8月)・医療安全シンポジウム(京都府看護協会)(10月)・国際医療リスクマネージメント学会 コーチングセミナー(10月)・医療と法ネットワーク第4回フォーラム(10月)・医療安全研修会 高槻市医師会(11月)・平成26年度国立大学栄養部門会議Basicコース「医療安全管理について」(11月)・第10回精神医療従事者自殺予防研修(12月)・医療安全研修会(京都府薬剤師会)(1月)・臨床倫理入門(3月)・多職種学際シンポジウム(3月)(以上、松村)・京都府看護協会(5月)(飯田)]、学会発表6件[医療安全学会(松村)医療の

質・安全学会(松村)]・論文0件・著書4件[安全管理におけるチーム医療 消化器外科 37:321-328、2014・継続教育における医療安全に対する取り組みと課題 Nursing Today 29: 19-25、2014(松村)・リハビリテーション医療に必要な患者安全の知識 理学療法京都 44:23-27、2015(松村)・ちょっと迷う日常医療倫理の決断WHAT'S NEW in 皮膚科学2014-2015、メディカルレビュー社、東京、214-215、2014(松村)]

職種別レポート数(2014.4.1~2015.3.31)

看護師	8,209件	83.1%
医師	480件	4.9%
薬剤師	397件	4.0%
管理栄養士	231件	2.3%
放射線技師	294件	3.0%
理学療法士	70件	0.7%
事務職員	46件	0.5%
臨床検査技師	98件	1.0%
臨床工学技士	45件	0.5%
その他	11件	0.1%
計	9,881件	

インシデントレポート数の推移(02~14年度)



地域医療の取り組み

医療安全を広く啓発

京都大学は第18回京滋医療安全研究会(2014.7、京都市)、第2回多職種学際シンポジウム(2015.3、京都市)を主催した。松村は、京都府看護協会医療安全委員会・京都府医師会医療安全委員会の委員を1年間務めた。

